

群馬県家畜商商業協同組合

阿部勝美理事長 談 設立：昭和29年

未来へのメッセージ

これからも家畜の公正な取引の推進を図り、若者が家畜流通の担い手である「家畜商」という仕事に魅力を感じ、互いに切磋琢磨して競い合える、活力ある業界づくりを目指します。



1枚の写真(研修旅行)

この写真は平成29年7月に宮城県の松島港で撮ったものです。当組合では、5年ごとに開催される「全国和牛能力共進会」(全国規模の和牛の品評会)に併せ、研修旅行を開催しています。日頃「セリ」で競い合っている組合員もこのときばかりは緊張の糸がほぐれます。

漢字一文字

家畜市場で行われる「セリ」は漢字で書くと「競り」です。文字どおり自分が一番だと思ふ家畜を競り落とすわけですが、ただ単に競争に勝てば良いというものではありません。いかにして適正な価格をつけるかが家畜商の腕の見せどころです。我々は、家畜の価値を見極めるプロとして競い合い、切磋琢磨しています。



桐生刺繍商工業協同組合

村田欽也理事長 談 設立：昭和48年

未来へのメッセージ

熟練の技を駆使して、多岐多様なニーズに応えられるよう日々努力して参ります。当組合は、“前進あるのみ”です。



1枚の写真(「桐生刺繍展」の開催)

当組合では、今年で46回目となる桐生刺繍展を11月の第1週の土・日を使って有鄰館で開催致します。伝統工芸士や組合員による刺繍製品の展示のほか、“スカジャンの背中に入れたい刺繍”デザイン画コンテストも行っておりますので、是非ともご来場ください。

漢字一文字

“桐生は日本の機どころ”とは上毛かるたでも歌われておりますが、それと同時に“桐生は日本一の刺繍の産地”でもあります。このメッセージと各種刺繍製品を全国、そして、世界に向けて発信していきたいと考えております。

